

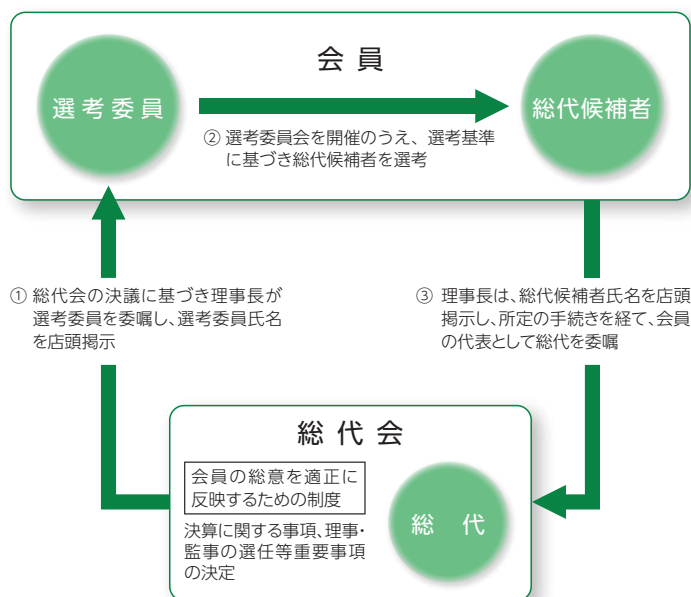
1. 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算に関する事項、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会は、会員1人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です



2. 総代とその選任方法

総代の任期・定数・定年

- 総代の任期は3年です。
 - 定数は、120人以上150人以内とし、会員数に応じて各選任区域ごとに定められています。
- なお、令和6年6月14日現在の総代数は143名で、会員数は108,762名です。
- 総代の定年は満80歳です。但し、任期の途中で満80歳に達した場合は、任期の満了をもって退任となります。

総代の選任方法

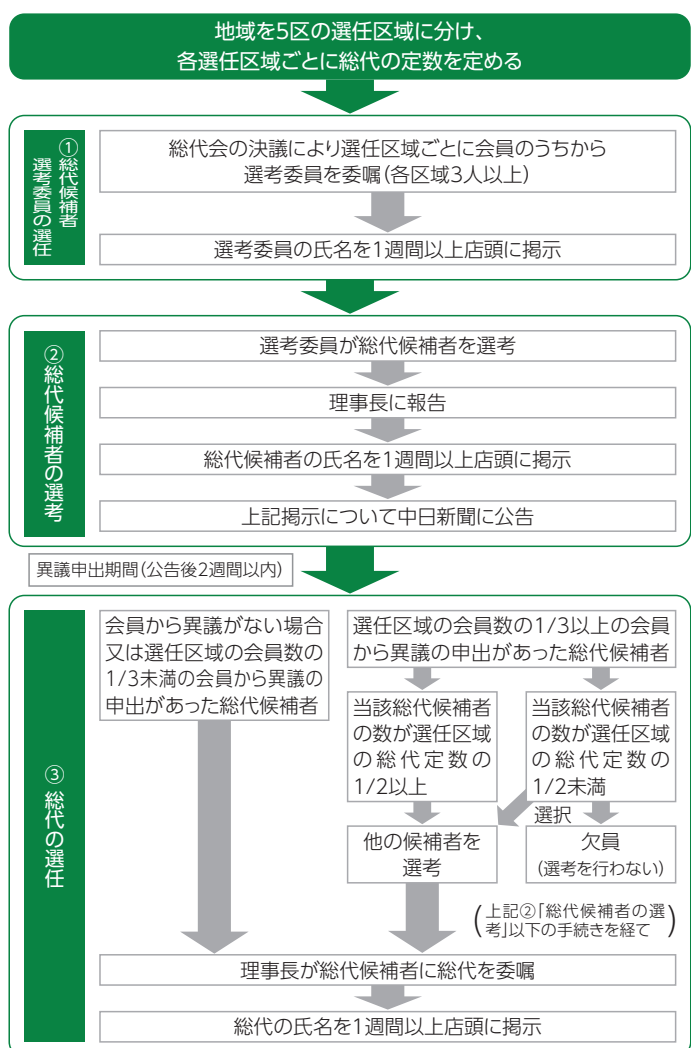
総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ①総代会の決議に基づき、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③上記②より選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

総代候補者選考基準

- 資格要件
 - ・当金庫の会員であること。
 - ・就任時点で満80歳を超えていない者
- 適格要件
 - ・総代としてふさわしい見識を有している者
 - ・良識をもって正しい判断ができる者
 - ・人格に優れ、金庫の理念・使命を十分理解している者
 - ・その他総代選考委員が適格と認めた者

3. 総代が選任されるまでの手続き





4. 第45期通常総代会の決議事項

日 時 令和6年6月14日(金) 午前10時
場 所 とうしん学びの丘 "エール" 講義棟

第45期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認されました。

①報告事項 1. 第45期(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

②決議事項 第1号議案 剰余金処分案承認の件

第2号議案 店舗施策の件

第3号議案 定款一部変更の件

第4号議案 会員除名の件

第5号議案 理事退任に伴う選任の件

第6号議案 退任理事に対して退職慰労金贈呈の件

5. 総代のご紹介

50音順 敬称略
氏名の後の数字は総代への就任回数

第1選任区(26名)

令和6年6月14日現在

足立判太郎③	加藤幸兵衛⑦	田口 節夫⑤	水野 成造①
安藤 英利⑥	加藤松治郎⑦	竹内幸太郎⑦	水野 忠博⑦
伊藤 謙一①	加藤 芳晴③	中島 竹壽①	毛利 明②
伊藤 義弘③	川村 美富⑧	西尾 太志①	若尾敬一郎②
牛込 伸隆⑥	小境 啓介⑤	林 憲保④	渡邊 圭子①
大澤 大二②	坂崎 義雄⑦	松原 朝男⑥	
加藤 清明①	隅谷 立美⑤	水野 英司①	

第2選任区(39名)

浅野 純子④	加藤 敦司①	七野 博史⑦	樋口 秀行②
石田 公司④	加藤 一雄③	杉山 計弘⑦	日比野 明②
板津 利彦⑦	加藤 孝明③	杉山 辰一⑥	藤掛 義彦②
市原 崇光⑥	神代 道雄②	千賀 弘幸②	森下 進⑥
今井 護⑤	瀬藤 雅文①	大東 昭夫⑮	山田 實紘⑤
内堀 泰作④	後藤 千幸④	田口 薫⑭	横関 宏也⑥
大脇 康司⑦	小林 司朗③	田代 惇④	横山 英樹①
岡崎 定勝①	佐伯 敏充④	塚本 郁夫③	吉田 登資②
掛布 毅⑥	佐合 鋭司①	中村 威③	渡邊 雅昭⑧
掛布 泰治③	佐藤 秀之⑤	西田 邦満③	

第3選任区(43名)

青山 二郎③	金和 直人②	田口 初夫③	三原 吉宗①
浅田喜美雄⑦	神戸 勝幸④	中山 量之④	宮本 憲彦②
磯村 裕子②	鬼頭 丈次①	成田 高義⑤	村松 博義⑦
伊藤 克己②	齊藤 路子②	長谷川杉夫③	森藤左エ門⑧
伊藤 真平④	佐藤 彰芳④	古川 克己③	森上 智代②
伊藤 園子②	清水 良一⑤	星屋 正夫⑤	森永 敦子④
今井 一郎①	東海林正則⑦	洞口 武士⑬	山口 一浩⑤
入谷 宏典⑤	東海林昌仁②	堀尾 英男⑧	山田 一生⑪
岩附 定裕③	関山 和重⑦	松永金次郎⑩	脇田 洋介③
岡 忠志①	祖父江寿男①	水野 廣男①	渡辺 政男⑦
小川 剛史③	高岡伸太郎⑤	水摩 國憲①	

第4選任区(20名)

伊藤 正博⑦	加藤 征吾⑤	曾村 豊③	林 正太郎②
岩原 崇①	加藤 文雄③	玉樹喜美成①	日比野茂則⑥
大島健太郎④	齋木 寛治⑤	中根 達人②	松本 寿三②
加藤 一治⑥	酒井 良郎②	西村 智之⑤	水野 洋之⑥
加藤 進路⑪	白石 文伸⑦	萩原 葉子①	渡邊 肇①

第5選任区(15名)

足立 雄三②	工藤 好功①	田中 義人⑧	山田 幹雄①
伊藤 正宣③	阪下 達雄④	正村 欽映④	若森まり子②
加知 節男⑥	柴田 正午⑤	町野 好博①	鷲尾賢一郎③
金津 洋一③	田中 定⑤	三尾 義彦⑤	

6. 総代の属性等

総代の属性等別構成

令和6年6月14日現在

選任区域 年 齢	第1	第2	第3	第4	第5	合計	構成比
59歳以下	3	1	5	3	0	12	8.4%
60歳～69歳	4	11	8	4	2	29	20.3%
70歳～79歳	17	17	21	11	11	77	53.8%
80歳以上	2	10	9	2	2	25	17.5%
合 計	26	39	43	20	15	143	100.0%

職業別	総代数	構成比
法 人 役 員	134	93.7%
個人事業主	5	3.5%
個 人	4	2.8%
合 計	143	100.0%

業種別	総代数	構成比
製 造 業	51	35.6%
卸・小売業	37	25.9%
建 設 業	20	14.0%
不 動 産 業	3	2.1%
サービス業	29	20.3%
そ の 他	0	0.0%
個 人	3	2.1%
合 計	143	100.0%

総代の選任区域

第1選任区	多治見市
第2選任区	可児市・美濃加茂市・各務原市 岐阜市のうち旧羽島郡柳津町を除く 関市のうち旧武儀郡を除く・可児郡・加茂郡 下呂市のうち旧加茂郡白川町に属する区域 羽島郡岐南町・羽島郡笠松町
第3選任区	名古屋市東区・北区・守山区・千種区・名東区 中区・天白区・昭和区・西区・春日井市・小牧市 犬山市・瀬戸市・尾張旭市・江南市・岩倉市 一宮市のうち旧尾西市を除く・北名古屋市 長久手市・丹羽郡・西春日井郡豊山町
第4選任区	土岐市
第5選任区	瑞浪市・恵那市・中津川市